その「怠け」本当に「怠け」なの？

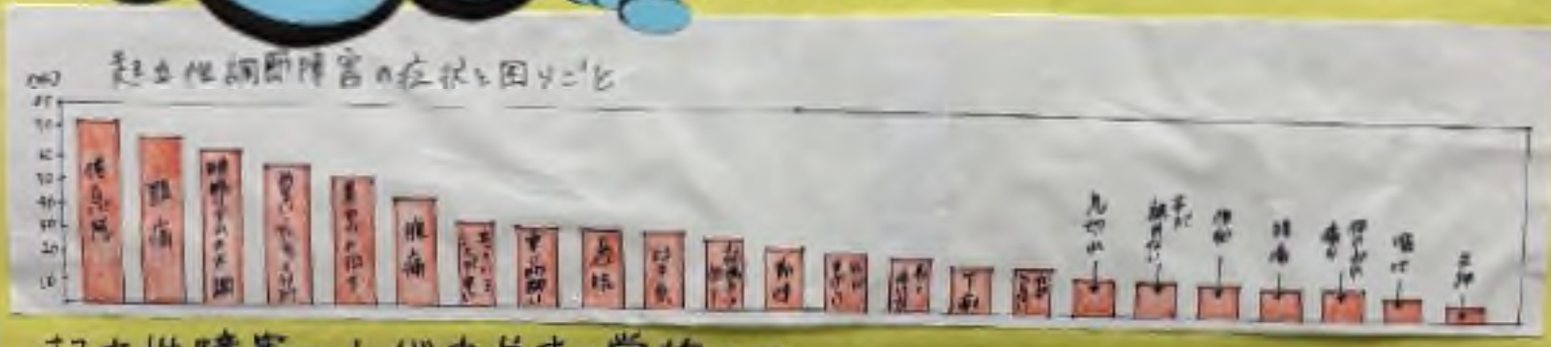
起立性調節障害とは？

起立性調節障害とは、自律神経系に属する交感神経と副交感神経の働きのバランスが崩れることによるもので、失神、動悸、頭痛などの様々な症状を引き起こす病気。立ちくらみや立ちに加圧が急激に低下し、めまいやふらつき、失神などの症状が現れる状態のことを指す。

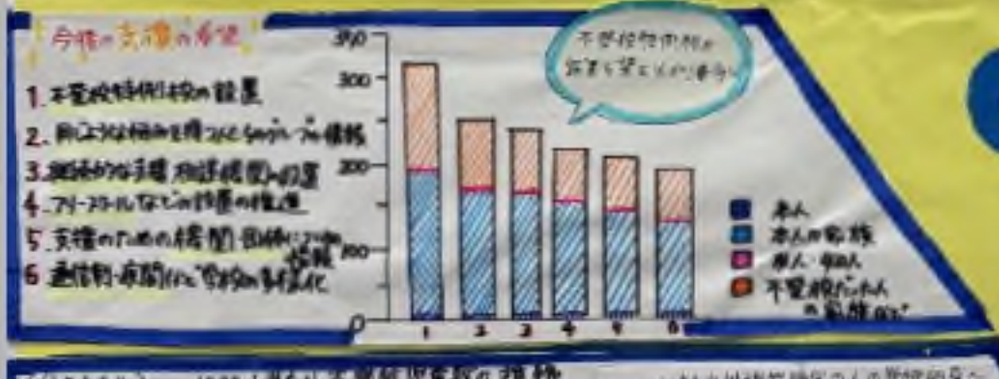
右のグラフからは起立性調節障害の児童生徒数は年々増加していることがわかる。

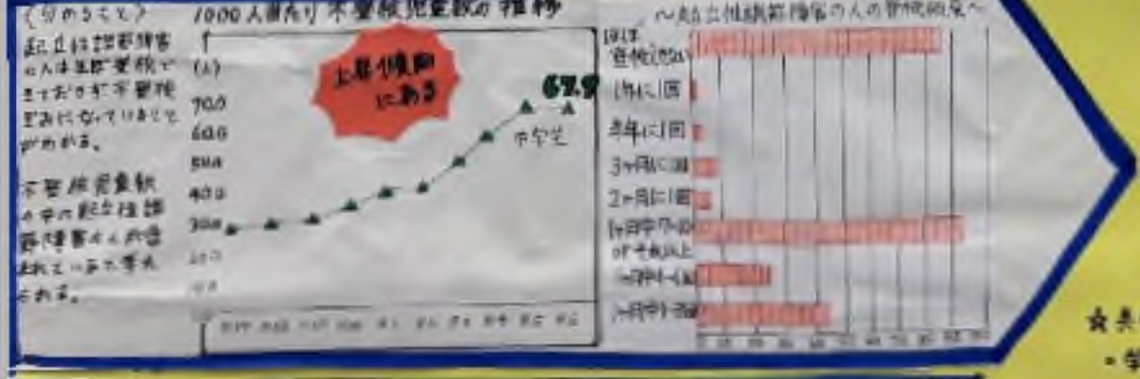
下のグラフからは症状の割りごとして疲労感が70%と一番多く、その他にも見た目ではわかりにくい症状が多く挙げられる。起立性調節障害の「怠け」だと言われる部分はこのような症状からくるものだと考えられる。

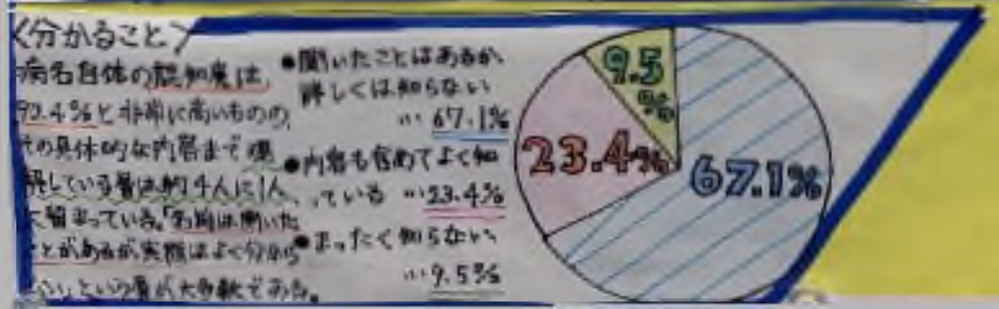




起立性障害の人が来やすい学校とは







○まとめ

起立性調節障害についての
グラフが少ない
↓
認知度があまり高くない
↓
認知度を高め、理解のある人が増えると、起立性調節障害の人が来やすい輪に入りやすい雰囲気（学校）をつくることができる。

☆具体的な実施案
- 学校で起立性調節障害についての授業を行い、この病気を広める。
（実際に診断された人からの話を聞くなど）
- オンラインで授業に参加した際でも、話し合いに参加できるよう加工をする。